

非常時の持ち出し品をチェック！

万一来に備え、下記のチェックシートを参考に、持ち出し品を整理し、家族で定期的に品物の数量・内容などの確認をしておきましょう。また、最低3日分の食料・飲料水を用意しておきましょう。



貴重品
救急セット
非常食
飲料水
衣類・下着類
携帯電話

ろうそく・マッチなど
懐中電灯・予備電池
ロープ
タオル・ちり紙
携帯ラジオ・予備電池
雨具・防寒用具

避難場所の確認をしておきましょう

《避難を急ぐときとは？》

・家屋が古く倒れる危険があるとき
・家の周りのがけや石垣・土手などの傾斜地に、土砂崩れの危険があるとき
・避難指示や避難勧告が出たとき

《避難するときの注意》

・地域で指定された避難所（下表）へ避難しましょう
・すぐに避難所に行くことがで

きない場合は、近くの公園などに一時的に避難しましょう
・持ち物はあるだけ少なく、日頃からリュックに用意しておきましょう
・履き慣れた運動靴・長そで・長ズボンで避難しましょう
・高齢者・乳幼児や障害のある人を優先し、近所の人に協力を求めましょう
・車での避難は極力避けましょ

避難場所一覧

施設名	所在地	電話番号
松尾台小学校	松尾台2丁目3-2	766-1766
猪名川小学校	柏梨田字イハノ谷11	766-0014
白金小学校	白金2丁目7	766-7188
阿古谷小学校	上阿古谷字畑ケ芝56-3	766-0021
楊津小学校	木津字茶垣内11-3	768-0010
大島小学校	島字賀島5	769-0025
つつしが丘小学校	つつしが丘1丁目45	766-6667
中谷中学校	原字尾鼻ケ尾747	766-0016
猪名川中学校	白金1丁目65	766-4000
六瀬中学校	笹尾字大作14-1	768-0024
猪名川高等学校	紫合字新林4-4	766-0101
猪名川幼稚園	若葉1丁目48-1	766-3899
松尾台幼稚園	松尾台2丁目3-3	766-0388
六瀬幼稚園	笹尾字加門田6	768-0369
猪名川保育園	若葉1丁目15-9	766-0292
社会福祉会館	紫合字火燈山8	766-0239
木津総合会館	木津字上山23	768-0217
六瀬住民センター	笹尾字黒添22	768-0001
文化体育館	白金1丁目74-24	766-7400
生涯学習センター	白金1丁目74-16	766-8432
スポーツセンター	万善寺十貫25-1	768-2277
柏原公民館	柏原字福井20	769-0252
B&G財団猪名川海洋センター	伏見台1丁目1-27	767-4100
県立奥猪名健康の郷	杉生字奥山1-22	769-0485

猪名川町の気象情報

問い合わせは、こちらへ
テレホンサービス 766-6161

ホームページ <http://www2.town.inagawa.hyogo.jp/>

国土交通省河川局 携帯電話版ホームページ<http://i.river.go.jp>

防災全般	総務課	766-8708
救急・消防に関すること	消防本部	766-0119
宅地に関すること	都市整備課	766-8704
道路・河川に関すること	道路河川課	766-8705
ため池・農道に関すること	農林商工課	766-8709

地震はいつどこで発生するか予測ができません。大きな揺れが起こると、人はパニック状態になります。発生時には、いかに「身の安全を守る行動」が迅速にできるかどうかで明暗が分れます。そのためにも、日常的に地震に対する対策を知らず、また災害時に必要な知識を多く持ち、地震の発生に備えましょう。

日頃の備え

・家具などはL型金具で止めて、転倒を防ぎましょう。
・タンスなどの上にテレビ、オーディオ・花瓶などを置かないようにしましょう。
・重い照明器具はしっかりと固定しておきましょう。
・寝室の窓にはカーテンを取り付けておきましょう。
・ガラスには飛散防止のフィルムを貼っておきましょう。
・履物と懐中電灯は家族それぞれ近くに置いておきましょう。
・家具の転倒や移動でドアや戸が開けられなくなったりしないよう配置を考えましょう。

地震が起これば、家の中はテーブルや机の下などに身を隠すのが安全です。また、揺れが止まったら、外へ飛び出さないようにしましょう（ただし、建物の倒壊などが察知される場合は外へ急いで避難する）。可能な限り乳幼児や高齢者、障害のある家族をかばいましょう。

我が家のチェック	チェック
突然襲ってくる地震を時々思い描いている	はい・いいえ
家族で時々地震のことを話す	はい・いいえ
家具の転倒防止をしている	はい・いいえ
小さな揺れでも必ず「火は？」と火の始末の行動に気が付く	はい・いいえ
消火器は、すぐに取り出せるところにあり、使い方は家族みんな知っている	はい・いいえ
マンションなどは、グラツときたらすぐに玄関ドアを開けるよう習慣づけている	はい・いいえ
子ども達に登下校時の大揺れのときの行動について、言い聞かせている	はい・いいえ
水・食料など、必要と思われる最低限のものはストックしている	はい・いいえ
避難所はどこか、家族みんなが知っている	はい・いいえ

すべて「はい」になるように、心掛けましょう

地震に備える

忘れていませんか？日頃の備え

今年、7月から9月にかけて、集中豪雨や大きな台風が次々と日本列島を襲い、尊い命が失われるとともに、家屋が浸水・倒壊するなど、全国各地に大きな風水害をもたらしています。本町においても、台風16号や18号による暴風雨のため樹木が倒れたり、お寺の鐘楼堂が全壊するなど、人の災害はなかつたものの大きな被害が出ています。

また、9月5日に発生した和歌山県沖を震源地とする地震の影響により、本町でも震度2の揺れが観測され、その後も体感に感じる震動が続くなど、不安な日々が続いています。皆さんの家庭では、万一災害が起こったときの備えは万全でしょうか？非常時の持ち出し品の準備はできていますか？地域の避難場所を確認しましたか？子ども達は、自分達で災害を回避する方法を知っていますか？災害時の高齢者への配慮はできていますか？・・・災害はいつどこで起こるかわかりません。災害を最小限にとどめるためには、事前の備えと災害時の対策についての知識を習得しておくことが重要です。そして、これらを十分に行うことにより、災害時に素早く正確な判断をすることができるようになります。

また、災害への対策として、各地域で、自治会や地域団体を核とした「自主防災組織」が結成されています。結成の目的などを理解していただき、いざというとき、組織の一員として活動できるように、地域の防災訓練などには、家族みんなで積極的に参加してください。

台風は突然襲ってくるものではなく、刻々と情報が発表され、しかもその精度は年々進歩しています。気象情報をよく聞き、早めの対応をとしましょう。

台風の大きさと強さとは？
（台風の大きさ）平均風速15m/秒以上の台風の半径大型（大きい）＝500km以上800km未満
超大型（非常に大きい）＝800km以上
（台風の強さ）強い＝33m/秒以上44m/秒未満
非常に強い＝44m/秒以上54m/秒未満
猛烈な＝54m/秒以上

風の強さとは？
やや強い風（風に向かって歩くと感じる）＝10～15m/秒
強い風（風に向かって歩けない）＝15～20m/秒
非常に強い風（暴風）（取り付けない）＝20～30m/秒
猛烈な風（樹木は根こそぎ倒れる）＝30m/秒以上

大雨（集中豪雨）とは？
1時間の雨量が30ミリ（ハゲツをひっくり返したような雨量）以上で、見る間に地面の水量が増してくる雨のことです。集中豪雨は狭い地域に突然発生し、短時間に大量の雨が降る現象です。予測したり予報を出しにくいので、被害が大きくなる可能性が高くなります。

大雨の災害と前兆
「小石がバラバラ落ちて、がけに裂け目ができる、がけから水が湧き出す」

大雨の災害と前兆
「小石がバラバラ落ちて、がけに裂け目ができる、がけから水が湧き出す」

風水害に備える

台風接近時の備え

・物干し竿を飛ばされないようにしましなう
・テレビなどのアンテナの支柱を強化しましなう
・植木鉢やプランターなどの小物を取り込みましなう
・雨戸や窓ガラスを補強しましなう
・家のまわりの排水溝を清掃し流れをよくしましなう
・床上浸水に備え必需品などを2階にあげましなう

大雨に備える

我が家のチェック	チェック
テレビ・ラジオの気象情報はよく聞いている	はい・いいえ
我が家の付近の地形や環境をよく知っている	はい・いいえ
地域の過去の災害体験や言い伝えを知っている	はい・いいえ
水害予防などの近所の協力には積極的に参加している	はい・いいえ
近所の高齢者のいる世帯など、対応困難な方への手伝いを優先している	はい・いいえ
高齢者や障害のある家族のために、避難準備は常にしている	はい・いいえ
台風の接近など気象に変化のあるときは、行楽などは差し控えている	はい・いいえ
応急補強・補修のための工具類や用品を用意している	はい・いいえ
河原でのキャンプで、水害に遭った人達のできごとを知っている	はい・いいえ
地階に水が浸入したことで、死者が出たできごとを知っている	はい・いいえ
非常時の持ち出し品はいつも用意している	はい・いいえ

すべて「はい」になるように、心掛けましょう



▲阪神広域防災総合訓練で自主防災活動に参加する皆さん

災害が発生したとき、公共の防災機関は総力をあげて応急対策を行います。大規模な災害の場合、対応しきれない状況が発生します。その活動が大きな力となります。自主防災組織は、近隣の人が協力し、組織的に行動することによって、大きな力が発揮できるような組織にすることができます。町内では現在、すべての地域で組織が結成されています。



自主防災組織の目的
救助活動や消火活動を個人で行おうとしても、個人の力では限界があります。自主防災組織は、自治会などお互い顔をよく知っていて、連携を持てる範囲での組織づくりが効果的です。そして、いざというときに組織的に活動できるように役割分担を決めておく必要があります。

組織の具体例は、情報班、消火班、救出・救護班、避難誘導班、生活班で編成され、日頃の活動内容は、消火・救護などの各種訓練の実施、資機材の整備・点検などです。

以上、秋の全国交通安全運動が行うことが、災害発生時の迅速で確かな活動につながると思います。自分達のまちは自分達で守るための自主防災組織づくりに協力してください。また、地域で行う自主防災訓練にもぜひ参加してください。

重点1
高齢者の交通事故防止、特に夕暮れときにおける歩行中の交通事故防止
歩行者は、夜間、照明のある明るい場所を通行したり目立つ服装に心掛け、運転者は、夕暮れ時の早めのライト点灯を心掛けましょう。

重点2
シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底
車に乗ると同時に、シートベルトを着用するようにしましょう。

重点3
交差点での交通事故防止
交差点では「はっきり・しっかり」安全確認をして、黄色信号での安全な停止を心掛けましょう。

秋の全国交通安全運動を満喫
期間：9月21日～同30日
秋の全国交通安全運動がはじまります。今年は、急激に進展する高齢社会における高齢者を取り巻く厳しい交通事故情勢に対処するため、「高齢者の交通事故防止」を運動の基本とし、左記の3点を重点事項として展開されます。

問い合わせは、生活環境課（766-8712）へ。

みなみ
南 萌絵ちゃん
1歳1カ月（桃並）



萌絵は南家のアイドルです。いつまでも、笑顔のかわいい萌絵ちゃんできてね。
父 功一・母 三香さん

にしの
西野 誠基くん
1歳4カ月（白金）



毎日、公園に行くのを楽しみにしている誠基。これからもお兄ちゃんと、仲良く元気に育ててね。
父 登三・母 陽子さん

生活習慣の変化により、増え続けている高血圧や糖尿病を改善するため、下記の教室を開催します。

今年度行った春の町ぐるみ健診で、血圧測定結果が要医療・要指導の判定となった人は約34.7%、糖尿病の判定が要医療・要指導の判定となった人は約16%という結果が出ています。現在治療中・予備軍の人や、病気について興味のある人はぜひ参加してください。また、医師の講演後日程を変えて、それぞれの運動や食事（調理実習）の教室も行います。

とき・内容下表のとおり
ところ保健センター
定員各40人（先着順）
申込み・問い合わせは、電話で保健センター（766-1000）へ。

保健センター
健康づくり教室

教室名	とき	講師
あなたもひよっとしたら・・・高血圧	10月12日（火） 午後1時30分～同3時	中村多一先生（中村内科クリニック院長）
糖尿病 “あなたは大丈夫ですか？”	10月28日（木） 午後1時30分～同3時	森幸三郎先生（森内科小児科院長）

第14回 町内3中学校吹奏楽部による合同演奏会

オータム・ウィンズ・コンサート
阪神芸術祭参加事業

とき10月10日（日）
午後2時30分～同5時
（同2時～開場）
ところ文化体育館
出演団体猪名川町3中学校吹奏楽部および各校OB・OG
客演奏者ラッシュ・プラス（金管十重奏）
入場料無料
問い合わせは、学校教育課（766-6006）へ。



▲昨年のコンサートの様子